

講義名	品質管理論			授業形態	
担当教員	持田 信治	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	

主題と概要
本講義の主題は本学のディプロマポリシーに沿って、企業経営や組織行動に従って発生する課題や問題に対する、具体的な改善策や解決策の提案ができるようになることである。 本講義はものづくりやサービスにおける品質を理解することを主題とする。更に本講義の主題は本学のディプロマポリシーに沿って、企業経営や組織行動に従って発生する課題や問題に対する、具体的な改善策や解決策の提案ができるようになることである。 ものづくりやサービスにおいて品質の確保は最重要課題である。そこで、本講義では品質の定義及び考え方の説明を行い、品質の管理と維持方法について説明する。加えて本講義は品質管理検定 3 級、4 級程度の実力を身につけることを目標とする。

到達目標
本講義はパソコンを使用した対面授業を前提としている。但し、新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には自宅のパソコンを使用した課題を提示する。 以下を本講義の到達目標とする。 （１）品質と品質管理について説明できるようになる。 （２）品質の維持、改善のための手法を活用できる。 （３）品質の維持、改善活動の計画と実行ができる。 （４）品質管理検定 3 級、4 級検定に対応できる実力を身につける

提出課題
講義の終わりに当該講義に関する小テストを行うことがある。 また、講義内容に関するレポートの提出を要求することがある。 小テスト及び課題の提示と回収は R E S P O N D により行う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
課題に対する評価や質問に対しては、必要に応じて次の講義で解説と説明を行う。

評価の基準
（１）評価は講義への参加度合いと課題の提出状況により算出する。 （２）授業参加度と小テストが 5 0 点、そして試験又は課題を 5 0 点で評価する。 （３）課題やコメントについて自主学習が認められる場合には特に評価する。 （４）授業参加度の確認と小テスト及び課題の提示と回収は R E S P O N D により行う。

履修にあたっての注意・助言他
（１）授業の運用方法、評価基準、受講ルール等の重要事項を初回の授業で説明するので、履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。 （２）筆記用具を準備しておくこと。 （３）講義中の私語、飲酒、カバンや飲食物を机上に並べること及び途中入室、途中退室、携帯電話の使用は厳禁とする。ルール違反者は厳重に対応する。場合によっては退室を命じることもある。 （４）講義においては質問を行う等の積極的な参加を期待する。 （５）ホールに資料がリP されている時は事前に確認しておくこと （６）講義への積極的な参加を希望する、また講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。

教科書					
・使用しない。					

参考図書					

その他
必要に応じて、プリント又は教材を配布する。加えて品質検定 4 級の手引き（品質管理検定センター）を配布する。

授業計画
第 1 回 ものつくりと品質について 第 2 回 品質と品質マネジメントについて 第 3 回 行程とプロセスとは 第 4 回 QC 的問題解決方法とは 第 5 回 データ分析の基礎 第 6 回 QC 的考え方、分析方法（パレート図） 第 7 回 QC 的考え方、分析方法（特性要因図） 第 8 回 QC 的考え方、分析方法（ヒストグラム） 第 9 回 QC 的考え方、分析方法（正規分布） 第 1 0 回 QC 的考え方、分析方法（散布図） 第 1 1 回 QC 的考え方、分析方法（管理図とチェックシート） 第 1 2 回 QC 的考え方、分析方法（チェックシート） 第 1 3 回 QC 的考え方、分析方法（PERT：アローダイアグラム） 第 1 4 回 言語データの分析その 1 第 1 5 回 言語データの分析その 2

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
シラバスに従った予習と配布された講義内容に基づいた復習を期待する。講義の参加に当たって、予習 2 時間と復習に 2 時間の自己学習が必要である。当該講義及び前回の講義内容について、小テストを行うこともあるので、授業後に復習を行うこと。講義に関連した小テストや課題は講義では説明をしていない関連項目に及ぶこともあるので講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
現代の企業経営に品質の維持は不可欠であり、品質とはばらつかないことである。そこで、本講義は品質をマネジメントや問題解決手法から考える。従って、本講義を履修することにより本学のディプロマポリシーに於ける、企業経営や組織行動に従って発生する課題や問題に対する、具体的な改善策や解決能力を品質管理の面から身に着けることができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用
「実務経験あり」 過去のプロジェクトマネージャとしての実務経験に基づき、製品とサービスに於ける品質と顧客の関係理解に向けたポイントを解説する。

備考
問題意識を持って講義に参加すること。